

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立高部屋小学校
-----	-------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉えることは概ねできている。 登場人物の相互関係について、描写を基に捉えることは概ねできている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけること。 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 二つの数の最小公倍数を概ね求めることができている。 目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることは概ねできている。 正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察することは概ねできている。 	<ul style="list-style-type: none"> 示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察すること。 百分率で表された割合を分数で表すこと。 図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解すること。 示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断すること。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 昆虫の体のつくりを理解することは概ねできている。 提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことは概ねできている。 観察などで得た結果を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことは概ねできている。 問題に対するまとめを導き出すことができるように、実験の過程や得られた結果を適切に記録することは概ねできている。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験に使う器具の名前と用途を理解すること。 光の性質を理解すること。 実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述すること。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 毎日、同じくらいの時間に寝ている児童が多い。 学校に行くのが楽しいと思っている児童が多い。 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは学習の役に立つと思っている児童が多い。 今までに受けた授業は、自分に合った考えをまとめたり、広げたりすることができていると考えている児童が多い。 国語、算数、理科の学習は、大切であり、授業で学習したことは、社会に出て役立つと思っている児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できるか」について、否定的な回答をしている児童がある程度いたこと。 「自分には、よいところがあると思いますか。」について、ある程度の児童が否定的な回答をしていること。 1日あたりテレビゲームを3時間以上している児童が多かったこと。 普段読書を全くしない児童がいたこと。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>漢字を文の中で正しく使ったり、応用的な課題を解決したりするための基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を目指していく必要がある。そのために、カリキュラムを見直し、繰り返し学習を継続的に取り入れていく。また、自己肯定感を高めるための取り組みを授業を中心に重点的に行っていく。</p> <p>【国語】漢字の習得に関して、定期的に反復練習を取り入れていく。</p> <p>【算数】計算方法、単位の意味、表やグラフの読み取りなどを毎時間確認してから問いに取り組んだり、関連する学習を始める前や途中で振り返りの練習問題に取り組んだりする。既習の練習問題に継続的に取り組むことで、基礎学力の定着を図り、課題を解決できる経験を増やしていく。</p> <p>【理科】実験器具の名称や用途を使用する時に、繰り返し確認することで定着を図っていく。</p> <p>どの教科においても「あたたかい聴き方」「やさしい話し方」を意識し、話し合い活動を中心に互いを認め、自分のよさを見つける活動を意識的に取り入れることで、児童の自己肯定感を高めることができる取り組みをしていく。</p>
--

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方にとってほしい内容

<p>・質問紙調査では、「学校に行くのは楽しい」「友達と協力するのは楽しい」と感じている児童が多かったです。また、学校で学習する内容は大切であり、将来の役に立つと考え意欲的に取り組む姿が見られています。また、生活習慣が安定し、学校へ来るのが楽しいと感じている児童が多いことも分かりました。ご家庭や地域で子どもたちの成長をサポートしていただいているおかげです。ありがとうございます。ご協力に感謝申し上げます。</p> <p>・調査結果より、読書の時間が減る一方で、テレビゲームにかける時間が多い児童がいることが気になります。SNSや動画視聴などを1時間以上している児童はかなり多く、その内3時間以上使用している児童も見受けられました。メディアを活用している時間全体で考えると1日に6時間以上使用しているということになります。長時間の画面視聴で目に負担がかかり、視力低下にも影響が出る可能性があります。また、睡眠時間の減少にもつながり、朝から不調を訴える児童も見られます。成長期の子どもたちには、体を動かす遊びや運動の習慣が大切であることも合わせ、メディア活用に関して、お子様と使用のルールを今一度確認していただけると幸いです。</p>
--